

## ■ 筑波山地域ジオパークについて



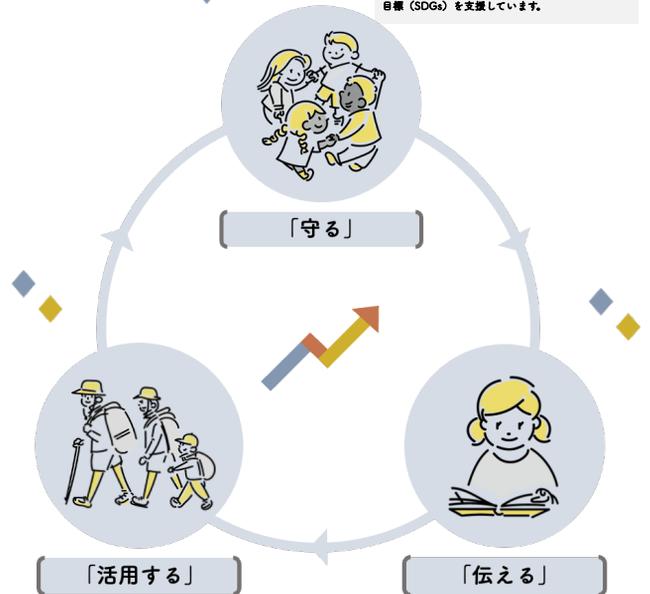
ジオパークとは、地域の宝（地域資源）を次の世代につないでいき、さらにそれらを伝える、活用していく一連の活動が行われている地域です。

筑波山地域ジオパークは、石岡市、笠間市、つくば市、桜川市、土浦市及びかすみがうら市の6市で構成されており、2016年に国内で41番目の「日本ジオパーク」の認定を受けて誕生しました。

現在、日本には「日本ジオパーク」が46地域あり、その内9地域がユネスコ世界ジオパークにも認定されています。（2022年5月現在）

当ジオパークでは筑波山、霞ヶ浦、関東平野の貴重な地形、地質やそれと関連した生物や生態系、歴史や文化などの地域の魅力を発信しています。

これまでにジオパークを活用した様々な学校教育支援を行ってきました。



## ■ これまでに行なった教育支援



- 環境教育 (河原の石ころ観察)
- 稲敷市立江戸崎小学校 5年生
- (2021年12月10日)



- 郷土教育 (筑波山登山事前学習)
- つくば市立 吾妻中学校 1年生
- (2020年11月12日)



- 郷土教育 (石岡自慢)
- 石岡市立府中小学校 3年生
- (2022年2月2日)



- 食育教育 (ジオパーク給食)
- つくば市立 栗原小学校 4年生
- (2019年9月5日)



- 環境教育 (筑波山登山)
- 小美玉市立 納場保育園
- (2021年7月10日)



